

1 内政

（1）福祉施設における火災による多数の未成年女性の死亡事件

8日、グアテマラシティ近郊のサン・ホセ・ピヌラ市の児童・青年福祉施設「聖母昇天安全の家」（el Hogar Seguro Virgen de la Asuncion）において火災が発生し、14歳から17歳の女性41人が死亡した。

41名の被害者は、火事の前日（7日）、同施設からの脱走を試みており、脱走の後、通報を受けて現場に到着した警察に身柄を拘束され、同施設の鍵がかけられた一室に収容されていたと見られる。また、火事の原因は、右収容先で収容者が抗議のためにマットレスに火をつけたためと報じられている。同施設は、職員からの暴行、いじめ、収容過多などの問題があったとして、検察庁より告発されていた。

11日、本事件に対する抗議デモが憲法広場で行われ、約3千人がデモに参加したが、大きな混乱はなかった。職員からの一部の参加者は、政府に責任があるとして、モラレス大統領の辞任を求めた。

（2）与党委員長に対する不逮捕特権剥奪および逮捕命令

15日、最高裁は、エドガル・オバジェ与党国民集中戦線（F C N）委員長（兼F C N委員長団副団長）の不逮捕特権剥奪を決定した。同委員長は、内戦時代の人権侵害の罪で、2016年8月29日に不逮捕特権剥奪請求を受けていた。

また、16日、危険事案A法廷は、オバジェ委員長に対して逮捕命令を発出した。加えて、18日、検察庁は、インターポールに同委員長の国際指名手配を申請した。同委員長に対しては、15日出国禁止命令が出されたが、オバジェ委員長は、2月20日以降、議会を欠席しており、国外に滞在していることが疑われている。

（3）少年更生施設における暴動及び警察官襲撃事件の発生

19日、グアテマラシティ近郊のサン・ホセ・ピヌラ市にある少年更生施設E T A P A 2において暴動が発生し、当該施設に勤務する指導員4名が死亡する事件が発生した。また、当該暴動には青少年凶悪犯罪集団「マラス」のグループの一つ「バリオ18」の構成員も関与しており、暴動鎮圧の報復として、20日、当国各地にて武装グループによる警察官襲撃事件が合計9回発生し、警察官3名が死亡、8名が重傷を負った。

警察官襲撃事件では、グレネードランチャーやアサルトライフル等の高性能な武器が押収され、非常に計画的に襲撃が実行されたことから、本事件は、「バリオ18」だけでなく、「違法地下治安組織」（C I A C S, Cuerpos Ilegales y Aparatos Clandestinos de Seguridad）（当館注：1996年に和平協定が締結された後、元将官などを含む退役軍人

によって構成された麻薬密輸等を行う犯罪組織の総称で、当国の政治への影響力も有している）も関わった組織犯罪の可能性があると専門家は見ている。

2 外交

（１）米国務次官補の当国訪問

６日、ブラウンフィールド米国務次官補（国際麻薬問題・法の適用担当）は当国を訪問し、モラレス大統領、アルダナ検事総長及びベラスケス・グアテマラ無処罰問題対策国際委員会（ＣＩＣＩＧ）代表と会談を行った。大統領との会談には、リバス内務大臣が同席した。会談では、主に治安や麻薬問題に関して話し合われ、同国務次官補は、警察における麻薬撲滅部門の創設等のプロジェクトを通じ、引き続きグアテマラを支援することを表明した。

（２）菌浦外務副大臣とモラレス外相との会談

１０日、カリブ諸国連合（ＡＣＳ）閣僚会合に出席するためキューバを訪問した菌浦外務副大臣は、モラレス外相と会談を行った。両者は、国際協力、文化交流、貿易、投資促進、観光関係の強化などを通じて、両国間の友好関係をさらに強化することが重要であるとの考えで一致した。

（３）モラレス大統領のコスタリカ訪問

２８日～２９日、モラレス大統領はコスタリカを訪問し、第１６回「トゥクストラ対話と協調メカニズム」首脳会合に出席した他、右会合に参加したソリス・コスタリカ大統領、バレーラ・パナマ大統領、ペニャ・ニエト・メキシコ大統領およびサントス・コロンビア大統領と個別に首脳会談を行った。会合にはＳＩＣＡ加盟国に加えて、メキシコ、コロンビアが参加した（当国、コスタリカ、パナマ、メキシコ、コロンビアからは大統領が出席）。当国からは、大統領の他、モラレス外相、モラレス・モンロイ経済大臣及びチャン・エネルギー鉱山大臣が会合に出席した。

モラレス大統領とペニャ・ニエト・メキシコ大統領との会談では、治安、開発、移民の保護に重点を置いた国境地域のインフラの近代化について協議された他、ペニャ・ニエト大統領が、５月の終わりにグアテマラを公式訪問することが決定された。

3 経済

（１）基礎的食料バスケットの値段上昇

７日、国立統計院は、２月のインフレ率が３．９６％で、基礎的食料バスケット（５人家族が消費する牛乳や卵などの基礎的な食料の１月の値段）の値段が１９ケツアル上昇し、４０９８ケツアル（約６２２９０円、１ケツアル＝１５．２円で換算）になったことを発表した。この額は、最低賃金で計算された月収（農業は２８９３ケツアル（約４３９７３４円）、製造業は２６６７ケツアル（約４０５３８円）を上回っている。

（２）輸出額の増加

２０１７年１月のグアテマラの輸出額は８億８８４０万米ドルとなり、８億３３８０万米ドルだった前年同月比６．５％（５４６０万米ドル）増となった。中銀のデータによると、輸出額増の主な原因は、カルダモン（香辛料）の輸出が２５００万米ドルから４５００万米ドルに増加したことである。ラックス経済次官は、主に米国からの需要が２０１６年の第４四半期に回復したことも、グアテマラの輸出が伸びた原因であると説明した。

（３）人間開発指数の発表

２２日、国連開発計画によって２０１６年の人間開発指数が発表され、グアテマラは１９３カ国中１２５位だった。中米の他の国々は、それぞれ、コスタリカが６６位、エルサルバドルが１１７位、ニカラグアが１２４位、ホンジュラスが１３０位で、グアテマラは中米の中でホンジュラスに次いで２番目に低い順位となった。

（４）セマナサンタの観光客数

３０日、ホルヘ・チャホン観光庁長官は、セマナサンタ（４月７日から１６日）期間中の観光客は２１０万人（国内からの観光客も含む）になり、約８５００万米ドルの経済効果を生む見込みである旨述べた。一番多くの観光客が訪れるのはアンティグアで、セマナサンタ期間中に５５万人が訪問する見込み。

◇主要経済指標◇	2017 年			2016 年	2015 年
	3 月	2 月	1 月		
インフレ率（前年同月比）	4.00%	3.96%	3.83%	4.23%	3.07%
貿易収支(百万ドル)	未発表	△402.9	△541.0	△6,532.0	△6,913.1
輸出(百万ドル)	未発表	947.4	888.4	10,465.3	10,726.2
輸入(百万ドル)	未発表	1350.3	1429.4	16,997.3	17,639.3
外貨準備高（百万ドル）	9,424.5	9,267.5	9,065.2	9,160.4	7,751.2
外国からの送金（百万ドル）	739.8	613.9	587.6	7,160.0	6,285.0
為替レート（対ドル月平均）	7.36	7.41	7.52	7.62	7.65

（出所：中銀、国立統計院）

注）2015 年及び 2016 年の為替レートは年平均

4 治安・社会

（１）アカテナンゴ火山への国内登山者の減少

１月に低体温症で６名が死亡した事故が発生してから、アカテナンゴ火山（サカテペクス県とチマルテナンゴ県）へのグアテマラ人登山者が減少している。登山口の担当者たちによると、事故前には毎週１００～１２５人が登山していたが、事故後は１５～２０人しか登っていない。一方、外国人の登山者の数は、維持されており、平日は４０～５０人、週末は８０人となっている。